

製品名: CSNK2A2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81170**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.2kDa

抗原情報

遺伝子名	CSNK2A2
別名	CK2A2; CSNK2A1; FLJ43934
遺伝子 ID	1459.0
SwissProt ID	P19784
免疫原	大腸菌で発現したヒト CSNK2A2 (AA: 194-350) の精製された組み換え断片。

背景

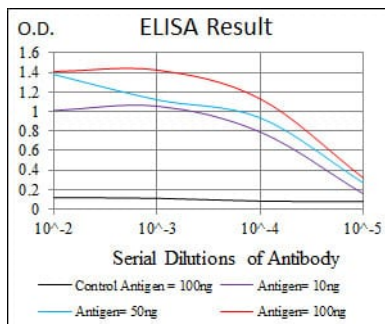
カゼインキナーゼ II (CK2) は、恒常的に活性で普遍的に発現するセリン / スレオニンプロテインキナーゼであり、細胞増殖、細胞分化、およびアポトーシスにおいて調節機能を持つと考えられています。CK2 は、2つの調節 β サブユニットと2つの触媒ユニット (α

および α') からなる四量体複合体として機能し、ホモマーまたはヘテロマー構造をとります。 α サブユニットと α' サブユニットは触媒的に同一ですが、cdc2 や Hsp90 などの CK2 を制御するタンパク質は、 α サブユニットに優先的に結合し、 α' サブユニットには結合しません。CK2 は、腫瘍抑制 (p53 および PTEN) および腫瘍形成 (myc、jun、NF- κ B) に関与するいくつかの重要な細胞内シグナル伝達タンパク質をリン酸化することができます。CK2 は、 β -カテニンのリン酸化を介して Wnt シグナル伝達に、また Akt のリン酸化を介して PI 3-K シグナル伝達経路にも影響を与えられていると考えられています。

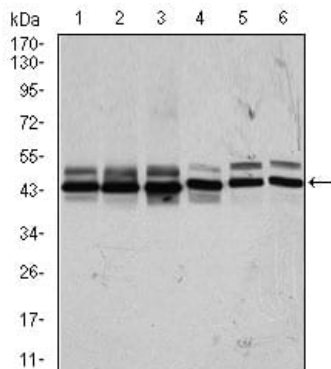
研究分野

アポトーシス、Wnt シグナル伝達経路

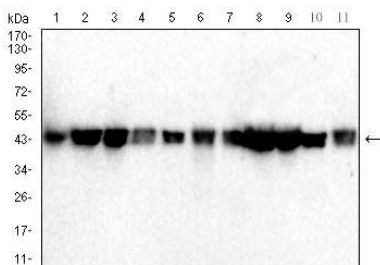
画像データ



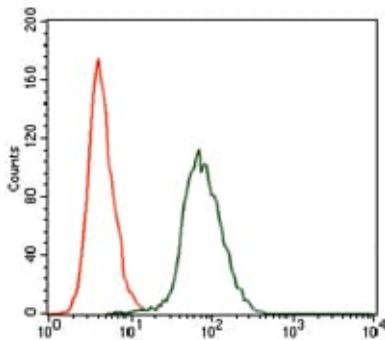
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



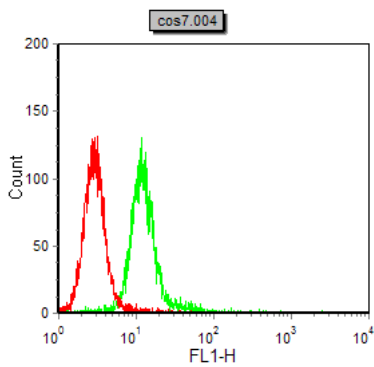
CSNK2A2 マウス mAb を用いた HeLa (1)、MCF-7 (2)、HepG2 (3)、Jurkat (4)、NIH3T3 (5)、および PC-12 (6) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



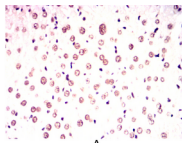
CSNK2A2 マウス mAb を用いたマウス肝臓 (1)PC-12(2)Raw264.7(3)NIH/3T3(4)NRK(5)C2C12(6)C6(7)L1210(8)F9(9)COS-7(10)CHO3D10(11)細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



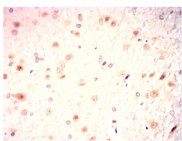
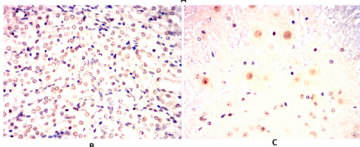
CSNK2A2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



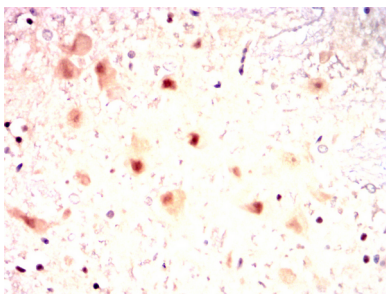
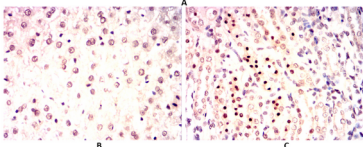
CSNK2A2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。



CSNK2A2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓 (A) マウス腎臓 (B) マウス小脳 (C) の免疫組織化学分析。



CSNK2A2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓 (A)、ラット腎臓 (B)、ラット脳 (C) の免疫組織化学分析。



CSNK2A2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ脊髄の免疫組織化学分析。